

小学国語の完成

△国語教室▽発展編／本書の特徴と構成

はじめに

国語はあらゆる教科の基礎であると言われます。しかしながら他教科ほど勉強しようという意識が薄い教科ではないでしょうか。国語の学習は他の教科と比べ「学力が身に付いた」という実感を感じにくい教科であるのがその一因と考えられます。

国語の果たす役割は広く、生活や文化の基盤であると言えます。重要な教科であると言える小学生の国語学習において、本書は国語の学力をしっかりと身に付け、それを実感できるテキストです。

ねらい

一般的な国語学習は文章を読み取る際の技術的なことを学習する場面が多くなります。国語力について「これからの時代に求められる国語力」(文部科学省)に、①考える力、感じる力、想像する力、表す力からなるや「教養・価値観・感性等」の領域を身に付けさせるとあります。これらのことは各段階における入試問題の変化に顕著に表れています。

本書は、①文章を読み返し理解すること。②色々な文章にふれること。③関心や話題に沿って対話すること。④優れた文章を音読したり暗誦すること。⑤相手に伝える優れた文章を書くこと。をねらいとして編集されています。

テキストの構成

基本の確認：

△10分～15分▽ 学習テーマや目標 題材に関する基本的な知識事項を整理します。

基本問題①②…

△20分～30分▽ 考え方や学習のポイントを身に付けます。知識事項の確認を行い、知識を活用して記述力を高める問題に取り組みます。

練習問題：

△10分～15分▽ 表現力を養成する学習ドリルも取り入れています。表現力を身に付ける文章の「書き写し」や文章の「要約」を行います。

挑戦問題：

(巻末)△30分▽ 正確な文章・豊かな表現力、説得ある文章を書く添削シートをテーマごとに用意しました。自分の意見とその理由、課題作文、資料や論文など様々な文章に挑戦しましょう。

△▽は学習時間の目安

発展編学習内容等

回数	学習内容	素材
1	豊かな表現を味わおう	詩歌
2	読書感想文を書こう	読書感想文
3	意見や考えその理由を書こう①	文学的文章① (随筆)
4	意見や考えその理由を書こう②	文学的文章② (随筆)
5	意見や考えその理由を書こう③	説明的文章①
6	意見や考えその理由を書こう④	説明的文章②
7	立場を決めて書こう①	意見文①
8	立場を決めて書こう②	意見文②
9	知識と経験を使って書こう①	課題作文①
10	知識と経験を使って書こう②	課題作文②
11	資料を読み取り論じよう①	資料①
12	資料を読み取り論じよう②	資料②
13	結果を読み取り論じよう①	実験・観察記録 ①
14	結果を読み取り論じよう②	実験・観察記録 ②
15	知識を使って考えよう①	計算(言語)パズル・規則性・場合の数など
16	知識を使って考えよう②	速さ・割合・図形・身のまわりの現象など
巻末	挑戦問題(添削講座)16回分	

PISA型学力(読解リテラシー)とは

「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれた文章等を理解し、利用し、熟考する力」(国立教育政策研究会)とあります。国語を使いこなし、考え理解する力=国語力とよばれるものです。

筆者の考えがかかっている個所をみつけて40字以内でまとめなさい」という問題は解けても「自分の考えを書きなさい」という問題で手が止まってしまうことはありませんか?単純な読解力だけではなく、読解力と記述力を組み合わせた学習によって国語力は身に付きます。

読解力とは多様なものを感じ、考え理解する力です。作文力とは関連性を見つけ創造的に結び付け、豊富な語彙と表現力を使い説得力のある論理的な文章を作る力です。これらの力が求められる時代です。

国語教室

【実験・観察記録①】 結果を読み取り論じよう①

基本の確認

あやかさんは、クロメダカを飼育するため、先生に飼育方法をたずねました。そこで、あやかさんはわかったことを次のようにまとめました。

【先生の話でわかったこと】

- ・動物が生きるためには、呼吸をしなければならぬ。
- ・酸素を取り入れて二酸化炭素を放出することを呼吸という。
- ・植物も呼吸を行うが、日光を受けているときは光合成も行つ。
- ・光合成では、二酸化炭素を取り入れて、酸素を放出する。
- ・魚類は水中にとけている酸素を取り入れて、水中に二酸化炭素を放出する。

先生の話聞いて、あやかさんは図1のような入れ物を用意しましたが、先生から、クロメダカが呼吸をすることができないので、水草を入れてみようと言われました。そこで、図2のような入れ物を用意しました。
あやかさんは、図1と図2のクロメダカの様子をしばらく観察しました。



〈あやかさんの観察記録〉

まとめ	事実	結果
クロメダカは、水草が放出する酸素を取り入れて呼吸し、水草はクロメダカが放出する二酸化炭素を取り入れて光合成をしている。	密封したペットボトルの中でクロメダカを育てるには水草が必要。	クロメダカは、水草のないペットボトルでは元気がなくなったが、水草の入ったペットボトルでは元気なままだった。

■結果を読み取る

実験や観察の結果を読み取ります。結果とはあるものごとを行った後に生じる現象のことをいいます。得られた結果は具体的に書きましょう。

例 色が変わった↓赤色から青色に少しずつ変化した。
とけた↓10ミリリットルの水に完全にとけた。
においがした↓こげるようなにおいがした。

文字で書くだけではなく、結果をグラフや表、イラストなどで表すこともできます。

■事実を確認する

実験や観察をすることによって、わかったことを事実といます。結果から、どのようなことがいえるのかを考えてみましょう。

上の観察では、図1と図2を比べることで、水草がクロメダカの呼吸を助けていることがわかります。

■内容をまとめ、報告する

結果を読み取り、事実を確認したら、その実験や観察からわかったこと、気づいたことなどをまとめます。なぜそういえるのか、という理由も書きましょう。

国語教室

【実験・観察記録①】 結果を読み取り論じよう①

基本問題①

カボチャには、花の中にめしべのみを持つめ花と、おしべのみを持つお花という二種類の花があります。次は、カボチャの実のでき方を調べるために行われた実験です。

◆問題

① それぞれの実験の結果はどのようになると思いますか。後の空らんに書きましょう。

実験 A

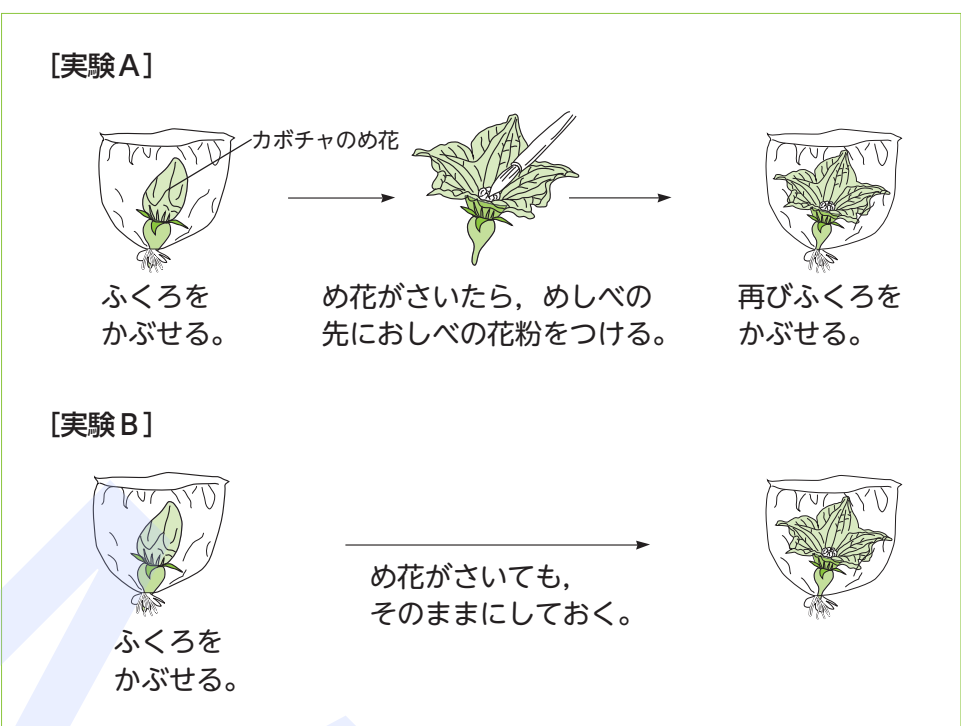
--	--

実験 B

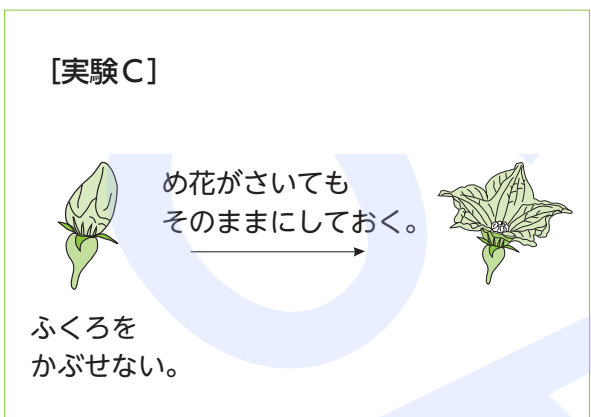
--	--

② 実験 A と実験 B の二つの実験からわかることを書きましょう。

--	--	--	--



③ 新たに**実験 C**を行いました。**実験 A**と**実験 B**の結果をふまえて、**実験 C**の結果がどうなるのか書きましょう。また、そのように考えた理由も書きましょう。



--	--	--	--

▽ポイントアドバイス△

- ▼ それぞれの実験から、花が実をつけるためにはどのような条件が必要なのかを考えましょう。
- ▼ ほかの人が納得できるように、わかりやすく、順序立てて説明しましょう。

国語教室

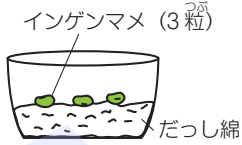
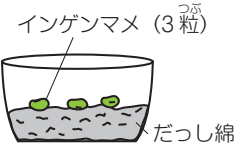
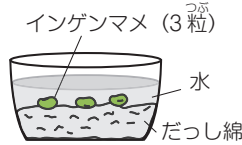



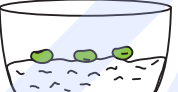


〔実験・観察記録①〕 結果を読み取り論じよう①

基本問題②

たかし君は、インゲンマメの種子を使って、発芽について調べてみました。次はその実験の内容をまとめたいものです。

◆問題

- ① たかし君の実験で、種子の発芽には、必要な条件がいくつかある、ということがわかりました。そのうちの一つを、実験から考えた理由とともに書きましょう。比べたカップをはじめに書きましょう。
- 比べたカップ () (と) () ()
 発芽に必要なもの () () () ()
 実験から考えた理由

	乾燥した ^{かんそく} だっし綿の上に種子を置いたもの	水でぬらしただっし綿の上に種子を置いたもの	種子が完全にかくれるまで水を入れたもの
日光のよく当たる窓際に置いたもの	ア 	イ 	ウ 
光が入らないようにアルミニウムはくで包んで日光のよく当たる窓際に置いたもの	エ 	オ 	カ 
冷蔵庫の中に置いたもの	キ 	ク 	ケ 

一週間置いて、発芽したかどうかを調べてみると、イとオ以外は発芽しませんでした。

②

日光が種子の発芽に必要なかどうかを調べるために、たかし君は、二つのカップを比べて、説明しようと思いましたが、たかし君になつたつもりで、理由とともに、説明を書いてみましょう。

縦線が引かれた空白欄

縦線が引かれた空白欄

▽ポイントアドバイス△

- ▼ 種子が発芽したカップと発芽しなかったカップを比べてみましょう。
- ▼ 発芽したカップと発芽しなかったカップでは、与えられた条件は何か違つのか考えてみましょう。

論文を書く③

挑戦問題

学年	性別	塾名
男・女	フリガナ	教室名
氏名		

◆次の資料は、ある年の清澄庭園、葛西臨海公園、多摩川について、それぞれの月のある一日に観察された野鳥の数の合計を示しています。この資料から、季節によって観察される野鳥の数や種類がどのように変化していることが読み取れますか。読み取れることを、原稿用紙に二つ書きましよう。

資料 よく見られる野鳥 (単位：羽)

	7月	10月	1月	4月
ユリカモメ	10	50	180	4000
コアジサシ	203	0	0	100
ツバメ	75	5	0	51
ツグミ	0	0	23	35
スズメ	200	245	260	350
カラス	41	67	44	45

(日本野鳥の会 東京支部の調査より)

※題名、氏名は書かず、本文から書きはじめましよう。

挑戦問題

●赤マル通知表●

- ★資料から、野鳥を観察した結果を読み取ることができた。
- ★野鳥の数や種類がどのように変化するか、気づいたことをまとめることができた。
- ほかに人にもわかりやすいように説明することができた。
- 筋道を通った文章を書くことができた。
- 誤字脱字やねじれないの文章で書くことができた。

よくできていた項目には、赤マルをつけました。

★マークは学習テーマですから、○がなかった人は復習しておきましよう。

●コメント●

*添削者印

【実験・観察記録①】
結果を読み取り論じよう①

◆ 解答 ◆

基本問題①

◆ 問題

- ① 実験A (例) 花の実ができた。
実験B (例) 花の実ができなかった。
- ② (例) おしべの花粉がめしべにつくことによって、カボチャの実ができるということ。
- ③ (例)
 - ・ おしべの花粉が、ミツバチなどのこん虫についてめ花まで運ばれて受粉するため、カボチャの実ができる。
 - ・ 受粉にはおしべの花粉が必要であるが、め花にはめしべしかないため、受粉することができず、カボチャの実はできない。

基本問題②

◆ 問題

- ① (例1) (比べたカップがアとイの場合)
発芽に必要なもの 水
理由 水でぬらしただし綿の上に置いていた種子だけが発芽しているから。
- (例2) (比べたカップがイとウの場合)
発芽に必要なもの 空気(酸素)
理由 空気にふれていない種子は、発芽していないから。
- (例3) (比べたカップがイとクの場合)
発芽に必要なもの 適当な温度
理由 低温のところに置いた種子は、発芽していないから。
- ② (例) カップイとカップオを見ると、どちらのカップの種子

も発芽していることから、種子の発芽に、日光が必要である
とはいえない。